



のりくら

「楽しい」と「学び」をつなげるプログラム

SDGsチャレンジ



のりくらSDGsチャレンジとは？

国立乗鞍青少年交流の家は「飛騨高山SDGsパートナー」登録施設として、これまで提供していた様々な自然体験活動に、SDGsの観点を盛り込み「のりくらSDGsチャレンジ」としてプログラム化しました。

このプログラムは、交流の家での自然体験活動を「楽しかった」だけで終わらせるのではなく、学校や家庭に帰ってからの実社会や実生活につなげていくことを目的としており、持続可能な学びを目指して開発されました。



「のりくらSDGsチャレンジ」のイメージ

交流の家での
体験活動

実社会・実生活

キレイ

森

楽しい

しい
におい

川

あくあく

山



カードゲーム



仕事

地域

コミュニ
ケーション

環境

家族

将来

自分

協力



国立乗鞍青少年交流の家



のりくら

SDGs チャレンジ

体験をとおして森や社会を学ぶアクティビティ

アロママグネット

飛騨高山のゆたかな木材が生み出す心地よい香りを体感します。家具の製作過程から生まれた端材がその香りをまとい、マグネットとして生まれ変わり、のりくらでの学びと思い出をいつまでも残します。

およそ60分
マグネット：1個 400円



マイエコバック

落ち葉の葉脈をクレヨンを使い、エコバッグに写しだします。エコバッグを使うことでプラスチックを削減することはもちろん、森を守ると水も豊かになることを学べます。

およそ60分
エコバック：1枚 400円



源流ハイキング

太平洋・日本海双方の源流が交流の家の近くには湧き出ています。水のはじまりに触れ、海から遠く離れた地で、大海を感じることができます。また、水の分かれ道である「分水嶺」を歩くこともできます。

およそ60分



のりくらアドベンチャープログラム

SDGs達成のために必要不可欠な「信頼」「気づき」「協力」。さまざまなプログラムを通し、これらを成長させます。集団の結束が深まり、その後の学びの効果を高めます。

60分から90分



ツリーイング

大きなミズナラの木に、ロープを使って登ります。自分の力で登り切ることで達成感を味わうとともに、大樹との触れ合いが自然の雄大さを教えてくれます。

およそ60分 人数は要相談
外部講師委託料：40,000円



のりくらSDGsクイズ

謎解き×SDGsの館内冒険。館内に散らばったSDGs17の目標にまつわるクイズに挑み、世界の抱える問題に気づきます。雨天時のプログラムとしてもご利用いただけます。

およそ120分



体験と実社会・実生活とをつなげる森をテーマにしたカードゲーム

moritomirai

モリトミライ

ウッドデザイン賞2023
林野庁長官賞 受賞!



森やまちの現状をゲームという入りやすく、だれもが楽しめるツールで考え、学習することができます。ゲームの特性から、子供たちには「絶対にゴールしたい!」という情熱が芽生えます。ゴール達成のためには「一緒にやろうよ!」「おねがい!チカラを貸して!」という姿勢が大切だと体感し、次第に会場にはたくさんの対話が生まれてきます。課題解決の方法を仲間とともに楽しく、真剣に考えることができるため、探究学習のツールとしても非常に有効です。

90分～120分。最小実施人数は10名。小学校5年生から実施可能。参加人数40名までは1名のファシリテーターが実施します。
学校・青少年団体：10,000円/ファシリテーター1名
企業等：30,000円/ファシリテーター1名

また、ゲーム前後に実施できるワークシートを使うことによって単にゲームを楽しむだけではなく、探究的な学びにつなげることができます。ワークシートは全4回分あり、継続的な学びが可能です。

